

令和 6 年度 芽室高校との意見交換会総括（案）

1 事業目的

生徒との意見交換を通じて「地方自治の担い手意識の醸成」、「議会活動の認知度向上」、「まちづくりに関心を持ち参加する機会」とする。

2 事業の根拠

- (1) 芽室町自治基本条例第 3 条第 6 号（議会と議員活動の原則）
- (2) 芽室町議会基本条例第 2 条第 4 項（基本理念）
- (3) 芽室町議会基本条例第 8 条第 1 項（町民参加及び町民との連携）

3 事業実績

(1) 日 時 令和 6 年 12 月 19 日（木）15:30～16:30

(2) 場 所 芽室高校（会議室）

(3) 意見交換会テーマ

ア 「選択的夫婦別姓について考える」

イ 「LGBTQについて考える」

(4) 参加者

ア 高 校 9 名（新聞局員・生徒会）

イ 議 会 7 名（常任委員会各 2 名・議会運営委員会 2 名・議長）

ウ 内 容

「ここが議場だ」「ようこそ議場へ」の資料を用いて、議会運営委員長から 5 分程度説明。その後、3 グループでのグループワークを実施（3 ラウンドに分けて実施）

○1 ラウンド：「姓」というものに対して、個人としてどんな価値や思い入れがあるか？今の社会における名前や姓の役割について、若い世代としてどのように感じているか？

○2 ラウンド：「選択的夫婦別姓制度が導入された場合、どのような社会的なメリットや課題が考えられると思うか？家族のあり方や価値観にどのような変化が起きると考えるか？

○3 ラウンド：「アンケートや先生へのインタビューを通じて意見や感想を出そう」

4 事業総括

(1) 成果：目的は概ね達成

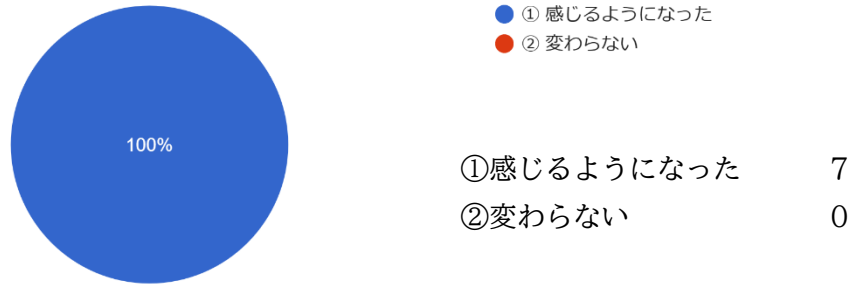
冒頭の議会についての説明及びグループワークでの議論を通じて、テーマに対する現状認識や自身について考えるきっかけになったと考える。またそのことが「地方自治の担い手意識の醸成」、「議会活動の認知度向上」、「まちづくりに関心を持ち参加する機会」につながったものとする。

(2) 課題：実施時期、テーマ設定等、次年度向けには検討が必要。

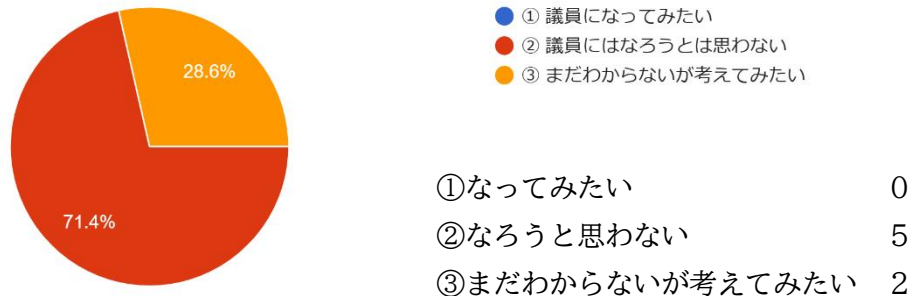
令和6年度 芽室高校意見交換会 アンケート結果
(回答：7名)

令和7年1月10日集計

設問1 議員とのディスカッションを毎年実施してい...議会や議員が身近に感じるようになりましたか？
7件の回答



設問2 議員になってみたいと思いますか？
7件の回答



設問3 議会や議員を身近に感じたり、まちづくりに関心を持つには、議会は何をしたらいいと思いますか？ (7件の回答)

- ・ 情報発信の工夫。町民などの目に留まるところに発信する
- ・ 今回のようなディスカッションを内容を変えて、年齢別にして議会ではどんなことをして、何が問題があるのかを説明して、地域の人々の理解を深めてもらう。地域の人々が気になっていることや、困っていることなどをアンケートを取って、その人たちに来てもらう、など。
- ・ 今回やったように高校生と議会などで意見交換すること

- ・話す機会を設ける
- ・今回の話し合いを通して学校との関わりを増やせると関心を持ちやすいと思いました。
- ・町民と触れ合う機会を増やす(作る) 情報発信を続ける
- ・定期的な SNS での発信、子ども向けの講座

設問4 今回このテーマでディスカッションしてみていかがでしたか？

感想や意見などご自由にお書きください。(要望なども) (7件の回答)

- ・様々な年代の交流ができてすごくためになる話し合いができた。楽しかった
- ・議員の人の貴重なお話を聞いてとてもいい体験になった。
- ・初めてやったので緊張したけど色々な意見を聞いたりしたことによって新しい発見があったりしてとてもいい経験になりました
- ・緊張していたが、結構話せた
- ・話し合って、改めて早く導入してたらいいのでは無いかと思った。
- ・色々な方の意見が伺えるので自分の考えを見直したり知識を培うことが出来ました。自分にとってプラスでしかなく、とても良い経験になりました。
- ・短い時間でしたが、色々な意見を共有できてたのしかったです。

令和6年度 芽室高校意見交換会 アンケート結果
(担当議員：回答6名)

令和7年1月10日集計

設問1 当日の運営について（方法、内容、進行など）

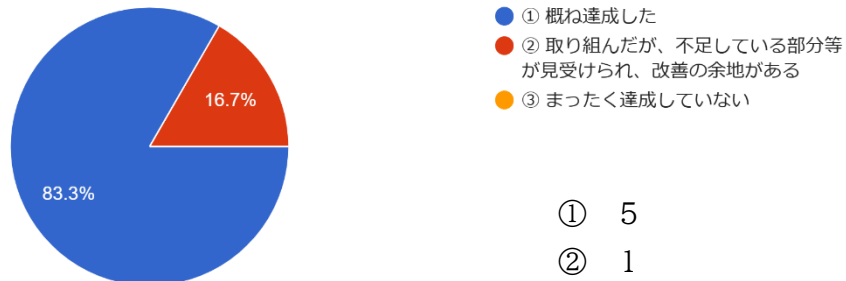
- ・時間が短く、内容は良かったのですが、十分な意見交換とまではいかなかった。
- ・限られた時間ではありましたが、スムーズにできたと思います。冒頭の議会についての説明はこれからも時間を作って行うようにした方が議会の認知度向上につながるような気がします。
- ・概ね良好でした。
- ・若干ですが時間が足りない感じでした
- ・限られた短時間の中でも端的により運営ができた。
- ・人数含めグループワークの運営法など特に問題なかった。
今後もこの方法で良いと感じた。

設問2 グループワークの中で出た意見等を踏まえて、議会として参考になったことなど
がありましたら記載願います

- ・今回の参加者1人ひとりが「ある政策的課題」について、事前に調べたり、インタビューしたり、「考える」ことこそに意義があったと思います。そこに議員がファシリテーターとしていることによって、さまざまな意見を引き出すことができ、有意義な意見交換になったのではないかと思います。テーマ設定の工夫なども含めて、今後も継続して取組んでいく必要があると思います。
- ・高校との議会としての取り組みの大切さをあらためて感じました。主権者としての役割や民主主義とは自分たちの生活に直結していることをグループワークを通じて解説をしながら伝えることの有効性を感じました。
- ・高校生の3年間にも社会との関わりは大きく変化している、より情報の報知が大切だ。
- ・今回の提案をうけて初めて【選択的夫婦別姓制度】や、【自分の名前（アイデンティティ）】について考えた、という意見がグループの中で多く聞こえてきた。議会との関わりの中で高校生たちの視野が広がり、視座を高めることができたのではないかと実感している。また、話し合いの中では互いのちがいを認め合える、他者を尊重するなど、生徒たちはいまの時代に必要な意識の高さをもち備えていることも確認できた。
- ・議会として特に取組まなければならない意見はなかった。

設問3-1 事業評価について（目的の達成度）

6件の回答



設問3-2 上記で②と③と回答した方は具体的に記載願います

- ・時間が短く、参加者も少なかった。一般の生徒も参加できるようにはできないものか？

設問4 全体を通してお気づきの点等、何かありましたらご自由に記載願います

- ・意見交換会に向けて、新聞局がアンケートを取ったり、インタビューを実施するなど、主体的な取り組みが行われていたことは非常に良かったと感じた。意見交換会に参加したメンバーだけでなく、高校全体に考えるきっかけづくりになったことは評価できる。
- ・芽室高校との意見交換会は生徒会、新聞局を主体に進めているため少人数での開催となっていますが、学校との協議を重ね理解が深められると良いと思います。
- ・設定時間が1時間と短いため話が深く進まない部分がある、
- ・今回のテーマは新聞部が事前にアンケート調査を行い新聞を発行するなど、高校生たちが関心を持って取り組んでくれたと感じている。次年度以降もテーマ設定を工夫しながら有意義な事業として継続したい。
- ・開催時間等考えると少人数での意見交換は良いと思う。